


受賞者氏名	中澤 史	
所属	国際文化学部国際文化学科	
受賞年月日	2022年1月19日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	日本スポーツ賞（読売新聞社制定）	
受賞名	第70回日本スポーツ賞（競技団体別最優秀賞）	

受賞(研究)内容詳細

第70回日本スポーツ賞は、2020年、2021年に日本スポーツ界で活躍した選手やチームを称えるものです。今回の受賞は、日本男子サッカー(サッカー、フットサル、ビーチサッカー)のトップカテゴリーでワールドカップ初の決勝進出を果たし、銀メダルを獲得したビーチサッカー日本代表チームの実績が評価されたものです。

2020年の新チーム発足と同時にメンタルコーチに就任し、2021年8月に開催されたFIFAビーチサッカーワールドカップロシア2021が閉幕するまでの間、日本代表チームの心理サポートを行いました。私に対する監督からの要望は、まず「選手の自信の強化。特に試合終盤でも強い気持ちを持って最後までプレーできる選手を育成すること」。そして「最終的にはワールドカップ優勝。最低でもメダルを獲得できるチーム作りのサポート」の2点でした。このことを念頭におき、選手、スタッフへの個人面接とメンタル講習会を中核とした取り組みを行いました。

個人面接の目的は、選手の競技力向上やメンタルヘルスの改善でした。そこでは、まず全選手に心理アンケートを行い、その結果を個別にフィードバックすることによって選手の自己理解を促すとともに、選手との信頼関係の構築を試みました。その後、選手から個別に相談が寄せられた場合は、対面またはオンラインによる個人面接を行いました。主に合宿帯同時に開催したメンタル講習会では、選手の競技力向上だけでなく、チームの一体感の向上に資するスポーツ心理学の知見を提供しました。

コロナ禍のため国内合宿すら十分に行えず、海外遠征や国際親善試合といった強化策が講じられることもないまま現地入りしました。しかし、初戦から接戦続きとなった大会を選手とスタッフが一丸となって勝ち抜き、過去最高の準優勝を果たすことができました。不安を抱えたまま挑んだ大会でしたが、困難な状況を言い訳にせず、自分たちがコントロールできることに全力を尽くしたことが奏功したように感じています。まさに「ピンチはチャンス」といったところです。

ワールドカップまでの歩みは、競技力向上のみならず、選手やスタッフの人的成長にも寄与する好機となったことは間違いありません。今回得た貴重な経験や情報は、授業や講習会などの機会を通して広く社会に還元していきたいと考えています。



©2021 FIFA via Getty Images